

The Bali

藤原 綾香 丸山 剛 水上 沙紀 横山 美里 劉 佳

地域サステナビリティとは、地域の自然と共生してきた先人たちの知恵と考え方を確認することです。

私たちは、インドネシア・ウダヤナ大学に赴き、持続可能な農業について、インドネシアの農業に触れ、国際的なサステナビリティについて考えました。



成田 → デンパサル(バリ島)

飛行時間：約7時間

飛行距離：5,610.32km

バリ島は東南アジアのインドネシア共和国バリ州に属する島である。面積は5,633km²島内人口は約389万人である。バリ島周辺はサバナ気候に属し、一年を通じて気温の変化はほとんどなく、年間の最低平均気温は約24度、いつでも暑く湿度も高いが、体を感じる暑さは、海からの風によって和らげられている。バリはインドネシアで唯一のヒンドゥー教のエリアであり、国民の80%がヒンドゥー教を信じている。

0819
Tue.



デンパサル空港に到着！！だがしかし、まだインドネシアに着いた実感はありませんでした…続く。

0820
Wed.



1日目は茨城大学と締結しているウダヤナ大学で開会式と学生のプレゼン発表。ここから1週間ウダヤナ大学でお世話になりました。ここで初めてインドネシア学生と対面し、お互い自分の研究内容について英語で発表しました。

0821
Thu.



新田先生も発表

Dr. Dewa

Dr. Alit

Dr. Putu

Dr. Rai

2日目は、先生の研究発表。昆虫、植物病理、作物学等の異なる分野の先生方が集結！！熱血授業でした。

0822
Fri.



～現地実習～

本格的な実習が始まりました。グループに分かれて有機農業を行っている農家への聞き取り調査と土壌分析をしました！土壌分析装置の使い方をインドネシア学生に教える時は大変でしたが、皆で協力して作業を終えることができました。

0823
Sat.



次は農薬を使用している農地と有機農法で野菜を栽培している農家を見学。違いを自分の目で確認する貴重な経験をさせていただきました。

観光では、パワースポットとしても有名なお寺に行きました。このお寺はお札の背景の絵にもなっているそうです。

0824
Sun.



22日・23日に行ったフィールドワークを元に、サステナビリティについてグループディスカッションを行い、スライドにまとめました。英語でのディスカッションは大変でしたが、とても白熱した討論ができました。

ディスカッションで疲れた後には、みんなでおいしいディナーもいただきました！

0825
Mon.



24日に行ったディスカッションの内容をプレゼンしました。自分とは違う目線の発表が聞けて、とても興味深い発表会となりました。

その後はFarewell meetingを開催していただき、とても楽しい時間を過ごしました。インドネシア学生とのお別れの時にはしんみりとした気分になりました。

0826
Tue.



最終日、出国の前に観光に赴きました。伝統的なバリダンスやビーチを見学し、バリ島の文化を身近に感じることができました。

その後、とても離れ難かったですが、深夜の便でインドネシアを飛び立ちました。

感想

今回の実習を通じて、インドネシアの農家の多くに学問が行き届いていない一方で、政府による有機農法に対する支援が日本よりも行き届いていると感じた。持続可能な農業を行うためには、生産性を高めるだけでなく、環境や生態系を考慮が必要であると思われる。

